

花巻南温泉郷 松倉温泉 悠の湯 風の季

Hanamaki Minami Onsenkyou Matukura Onsen Harukanoyu Kazenotoki
(岩手県花巻市)



風の季は、高級感あふれる静かな温泉ホテルである。今回はこのホテルにある温泉を紹介する。温泉は内湯の「悠の湯」、半露天風呂の「昇陽の湯」、露天風呂の「かわみの湯」の3つがあるが、別々になっているわけではないので、同時に利用することが可能だ。

脱衣室では基本的に脱いだものを籠に入れるが、無料で利用できる貴重品ロッカーが具備されている。従って、貴重品を持参しても大丈夫である。脱衣室にはアメニティーが充実しており、トニック、

スキンウォーター、シェービングフォーム、綿棒、使い捨ての髭剃り、ヘアブラシ、ヘアムース、ドライヤー、ティッシュがある。女湯はもっと充実しているのかもしれない。

洗い場は9か所と数が少ない。客室数50、収容人数約250人のホテルにしては、9か所では難ありであろう。洗い場にはシャンプー、コンディショナー、ボディソープ、ハンドソープが具備されている。

浴槽は3つ。内湯、半露天、露天がある。まずは内湯。定員が25~30人と大きく、やや熱めもしくは適温だ。浴室全体が落ち着いた色で仕上げられており、浴槽と床、腰壁は石貼、壁は木製と高級感も確保されている。

半露天風呂とは、壁が網戸になっていて、屋外の空気が取り入れられている、屋根のある浴槽のことだ。定員は15人ほど。奥行きが長いので、なかなか奥まで行こうという人がいないため、大きな浴槽が無駄になっているように思えた。その分、奥まで行った人には、自分のスペースを最大限確保できるであろう。湯温はやや熱めもしくは適温だ。

露天風呂は解放感が満点である。夜は周囲がどうなっているのかわかりづらかったが、朝行ってみると、下は断崖絶壁で、20m程下に川があるようだった。せせらぎの音が聞こえ、風でざわめく木々の音が聞こえる。自然に溶け込んでいくような安堵感のある露天風呂である。しかも朝はリンゴ風呂。手に取って食べたくなるようなリンゴが20個ほど浮かべられていた。湯温はぬるめだ。

ちなみに、悠の湯は単純温泉（アルカリ性単純高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

風の季の宿泊料は決して安くはないが、おいしい料理と、快適な睡眠、そして素晴らしい温泉を堪能できるのであれば、十分元が取れる。夕食は魚介を中心にした豪華なものであり、朝食は和洋のバイキング形式。生たらこが食べ放題とあって、ついつい食が進んでしまう。



日本には風の季のような温泉旅館やホテルがいたるところにある。これは日本が世界に誇れる財産に違いない。

DATA

名称	花巻南温泉郷 松倉温泉 悠の湯 風の季
所在地	岩手県花巻市湯口松原 36-3
電話	0198-38-1125
営業時間	宿泊者は 10:30~24:00、6:00~9:30 日帰り者は 10:30~16:00
定休日	無休
入浴料	大人 600 円、小学生 300 円、未就学児 200 円（宿泊者は無料）
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2016 年 10 月某日
取材	銭湯愛好会東京支部